

みやざき九条の会 ニュース

2005・9・20 第3号
880-0803 宮崎市旭 1-3-20 くすの樹ビル
宮崎中央法律事務所内
TEL0985-24-8820 FAX0985-22-2937
E-mail miyazaki9jou@yahoo.co.jp

自民党が九条を全面改悪する「新憲法第1次素案」発表

自民党新憲法草案委員会は8月1日、「新憲法第1次素案」を発表し、11月に案文化した改憲案作りを目指すことを明らかにしました。

憲法9条に関しては、第2章「戦争の放棄」を「安全保障」とする、9条1項「戦争放棄」を「平和主義」の理念とする、9条2項「戦力不保持、交戦権の否認」を削除する、自衛軍保持を明記、国際活動（海外派兵）を認める、司法（第6章）に軍事裁判所の設置を明記、等日本国憲法の原点ともいふべき9条の全面改変する驚くべき内容になっています。

世界の宝、9条を守るための内外を含めた一層の運動の必要性が痛感させられます。（成見正毅）

（現在の憲法九条）

第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

二 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

（自民党草案の原文）

第二章 安全保障

（安全保障と平和主義）

第九条 日本国民は諸国民の公正と信義に対する信頼に基づき恒久の国際平和を実現するという平和主義の理念を崇高なものと認め、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求する平和国家としての実績に係る国際的な信頼にこたえるため、この理念を将来にわたり堅持する。

2 前項の理念を踏まえ、国際紛争を解決する手段としては、戦争その他の武力の行使又は武力による威嚇を永久に行わないこととする。

（現二項は削除・以降が新設）

（自衛軍）

第九条の二 侵略から我が国を防衛し、国家の平和及び独立並びに国民の安全を確保するため、自衛軍を保持する。

2 自衛軍は、自衛のために必要な限度での活動のほか、法律の定めるところにより、国際社会の平和及び安全に確保のために国際的に協調して行われる活動並びに我が国の基本的な公共の維持のための活動を行うことができる。

3 自衛軍による活動は、我が国の法令並びに国際法規及び国際慣例を遵守して行わなければならない。

4 自衛軍の組織及び運営に関する事項は、法律で定める。

（自衛軍の統制）

第九条の三 自衛軍は、内閣総理大臣の指揮監督に服する。

2 前条第二項に定める自衛軍の活動については、事前に、時宜によっては事後に、法律の定めるところにより、国会の承認を受けなければならない。

3 前二項に定めるもののほか、自衛軍の統制に関し必要な事項は、法律で定める。



森 千枝新代表世話人から一言 “ 真実を見つめる強い力を持って ”

この度「みやざき九条の会」へのお誘いを受けた時、私は正直少し奇妙な感じを受けました。私はもっとずっと以前、同じ呼びかけ人から「憲法とくらしを守るみやざき女性の会」へのお誘いに応じていたもので否がある

う筈はないと。

但し、88才の年齢は仕方のない事、精神は不動ですが、若い方々の活動力の加勢になる事が出来ません。私が若い貴方達に言えることは「戦争」について、どんなに「正論」と言いくるめられる言葉にも、必ず「うそ」が隠れていると言う事です。

実際、私は毎日のように「出征兵士」と言われる人を、まるで甲子園に出場する選手を送る様に熱狂的に日の丸を振って送っていました。当時は徴兵ですから、希望者ではありません。大切な生活の担い手も、助け手も考慮に入れられる事が無い。まして、本人の心等は「召集令状」の前にはまるでゼロでした。なのに「やめて」とも「いやよ」とも私達は言うことを忘れていました。

やがて、戦場が海の向こうではなく普通の人々が住んでいる所になり、武器を持たない人々が命を落とす様になりました。やっと、かくされ偽られていた戦争の実態に、私はふれたのです。「これは60年前のことではありません」と私は言いたい。

今でもアメリカでは、「原爆」で平和が来たと胸を張っている人がたくさんいます。その人々も戦争の真実を知らされていない！峠三吉という詩人は「原子爆弾を落とさずとも戦争はどうせ終わっただろうに」と詩にうたっています。

もう一つ大切な事は戦争を知らない若い人に知ってほしい。私は「やられた」とばかり言うのはいけないと思います。武器をもってよその国へ私達の国の人も行っただのです。きれい事ばかりではなかった筈です。苦しいことですが、真実を見つめる強い心を持って、「九条の深い精神」を理解して参りましょう。(森 千枝)

運動紹介

都城・きたもろ九条の会で 「うちわ」を販売

都城地域で結成された「都城九条の会」で、憲法9条をモチーフとした「うちわ」を1枚100円で販売しています。お問い合わせは、若松英次さんまで(TEL0986-22-4414)



の鑑賞、そして参加者で意見交換し、たいへん盛り上がりました。

同会は今年4月に立ち上げられ、7月には「憲法と平和を考えるつどい」、そして今回のイベントと活動を繰り広げてきました。今後は、9月25日に平和コンサートに協力、10~11月に映画「ガラスのうさぎ」の鑑賞会、11月23日の秋祭りに参加して「憲法音頭」を踊るなど、盛りだくさんの活動が予定されています。(木下統)

同会に関するお問い合わせは、上村さんまで(Tel.0984-23-4450)

なお、今回、小林で上映したビデオや「九条の会」発足記念講演会(2004年7月24日)ビデオの貸し出しを行っています。家族で見るもよし、集会を企画してもよし、事務局までお申込み下さい。

こばやし九条の会でビデオ上映会

こばやし九条の会は8月23日、小林市内のスマイル館でビデオ「9nine - 憲法九条は訴える！」映写会を開催しました。

参加者は25名。絵本『戦争のつくり方』を大型スクリーンに映しながら朗読、続いて、ビデオ『あたらしい憲法のはなし』(日本平和委員会)

国富九条の会が発足!

8月20日(土)国富町で藤原代表世話人が出席し、「国富九条の会」発足集会が開催されました。

集会は約90名もの参加者があり、今後の活動が期待されます。

国富地区での当面の活動については、九条の会ニュースでも随時お知らせします。(田中宏奉)

九条の会有明講演会



大江健三郎氏らによる昨年6月のアピール発表からほぼ1年。アピールに応じて全国で3026の九条の会(8月1日現在)が

生まれ、草の根の活動が広がりました。

これを記念し「九条の会」主催で開催された「九条の会有明講演会」には、全国から9500人の参加がありました。

「みやざき九条の会」から成見代表世話人が出席しました。

九条の会有明講演会」に

9500人参加

7月30日、「九条の会」1周年を記念して東京有明コロシアムで講演会が開かれ、私も参加しました。

円形状の会場は全国から集まった9500人の参加者で熱気むんむん。「九条の会」呼びかけ人のうち大江健三郎、井上ひさし、三木睦子、鶴見俊輔、小田実、奥平康広の6氏が講演し、澤地久枝氏がビデオメッセージを寄せました。



大江氏は沖縄戦や広島、長崎の原爆被害等を「受忍

せよ」と迫る国の姿勢を批判し「受忍しない」という覚悟を固める必要があると力説。

井上氏は昭和20年の平均寿命が男子で24才未満だった等の事実を紹介し、「あの戦争が正しい、あの時代がすばらしかったという人が増えている」と告発し、改めて九条の素晴らしさを訴えるユニークな話で会場は大いに盛り上がりました。

この1年間で3000を超える九条の会が作られ、私を含め参加者は国民の九条に対する熱い思いと「変化は来る。勇気をもらった」ということを実感しました。

九条の会事務局からは今後更に情報や経験を交流しあうネットワークを広げ、来年全国交流集会を目ざすこと、全国で更に大小無数の学習会を開き、様々な形で九条改憲に反対する意思を表明し、大きな世論を作り出していくこと等の呼びかけがあり、この宮崎での今後の活動について改めて思いをめぐらしました。(成見 正毅)

宮崎大学九条の会で学習講演会

宮崎大学で開催された、憲法学習会の報告をいただきましたので、以下掲載します。

- たくさん学んだ藤原氏講演 -

7月7日、私たち「宮崎大学九条の会」の努力の結果、1回目の学習講演会を開くことができた。

元宮崎大学学長の藤原宏志さんが「憲法九条、今が旬」と題して話して下さいました。

参加人数は20人で必ずしも多くなかったが、話はとても面白かった。

藤原さんは稲作が専門、大昔は個人的な喧嘩はあっても戦争はなかった。例え焼畑が奪われたとしても別なところに開けばいいのだから、焼畑は奪う対象にならなかった。

人間の歴史に戦争が登場するのは富が蓄積されるようになってからだ。この話は、イラクの石油が目的のプッシュ大統領にも聞かせてやりたかった。

藤原さんの話でなるほどと思ったもうひとつは、現代は競争の時代ではなく共生の時代だということだ。そうだと、地球の資源に限られ、また人間がこれほど理性的になった今日、競争という非理性的原理は確かに時代遅れだ。私は大学院で「人間共生論」を担当しているが、教えられるところが多かった。

「平和へのかけ橋＝バグダット・ブリッジ」の女子学生が、みんなで頑張りましょうと呼びかけた。若者のさわやかな風に触れてみんなが拍手を送った。

(宮崎大学教育文化学部 河野富士夫)

全日本民医第8回共同組織活動 交流集会に参加して

6月12・13日岡山にて「九条の会」呼びかけ人の澤地久枝さんの講演を聴きました。

私の心に残った事は、惚れ惚れする歯切れのよい信念に満ちた素晴らしい話でしたので、この場を借りて紹介します。(報告者 岩切八郎)

澤地久枝さんの講演から -

自分自身軍国少女だった体験をもとに、徴兵で戦争に行かされた9割は餓死だった。

偉い人の子供には逃げ場があり、庶民には逃げ場がない。

ベトナムやイラクの戦場からのアメリカ帰還兵が精神的な病気になっている。

私は殺したくない、殺されたくない。
人を殺すな、殺されるな。

自衛隊は経済力とノウハウを生かした災害救助のできる集団になるよう提言する。

日本国憲法を捨てた大人でなく、守った大人になろう。



「九条の会」は、平和を求める世界の市民と手をつなぐために、憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。

活動報告

「真珠の首飾り」の上演実行委員会に参加して

去る2005年6月22日に宮崎芸術劇場演劇ホールで、青年劇場「真珠の首飾り」の上演がありました。

私は、上演の実行委員会「ベアテの会みやざき」のメンバーでしたのでご報告します。

この演劇は、ベアテ・シロタ・ゴードンさんが、22歳の若さでGHQの民生局員として日本国憲法の人権条項の草案作成に関わった、1946年2月の9日間を描いた演劇です。「女性が幸せにならなければ日本は平和にならない」と、女性の地位向上を目指した彼女の意図は、今も憲法24条をはじめ日本国憲法の中に生きています。

上演当日の入場者数は861人、チケットの販売総数は1000枚を越え、上演は成功を収めました。

上演に際しては、「みやざき九条の会」の皆様がチケットを110枚以上販売していただいたり、上演に足を運んでいただくなど多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

8月になって青年劇場から「真珠の首飾り」が九州、四国、近畿、関東地方の21都市24ステージで、新たに1万8000人の観客を動員し無事終了したとの報告がありました。



「真珠の首飾りにこめられた平和のメッセージをお互いに大切にしながらこれからの活動に活かすことができると願っております。」というメッセージをいただいています。

皆様、本当にご協力ありがとうございました。
(宮本美佐子)

**「9nine - 憲法九条は訴える！」
ビデオ上映会
戦争のつくりかた
第4回例会を開催**

6月16日(木)宮崎市民プラザ4階ギャラリーで開催された、第4回例会では、映画「9nine -

憲法九条は訴える！」の上映会を行い、47名の参加がありました。

参加者の中には、大学生など若い世代の方も多数参加し、それぞれが思う「平和」について、貴重な意見の交換がありました。(田中宏奉)

(ビデオ解説)

「九条の会」のこれまでの活動や、作家の大江健三郎さんをはじめ、梅原猛、井上ひさし、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の九氏全員が登場しています。

ビデオは、約四十五分。憲法改悪により日本が戦争する国家になっていく恐ろしさを子ども向きに分かりやすく解説した絵本『戦争のつくりかた』(りぼん・ぷろじえくと、マガジンハウス刊)を、俳優の根岸季衣さんの朗読で紹介。

いま憲法を考える

「映画と音楽の夕べ」

**- 映画「TOMORROW 明日」上映会 -
第5回例会を兼ねて**

7月14日(木)宮崎市民プラザ・オルブライトホールで、黒木和雄監督の「TOMORROW 明日」の上映会を開催しました。

入場者は400名を越え、ミッキーさんの歌と映画に感銘を受けた入場者の方からは、「黒木監督の戦争レクイエム3部作の『美しい夏キリシマ』や『父と暮らせば』の上映会もして欲しい。」という声も聞かれました。

会員の皆さんには、チケット販売にご協力いただき、ありがとうございました。

今回の企画の収支決算は次のとおりです。

(報告者 田中宏奉)

(収入・チケット販売) 金405,600円

(支出・支払金)

会場費 金109,060円

フィルム代 金136,500円

印刷類 金83,156円

その他 金46,045円

合計 金377,761円

(決算) 金27,839円

この決算には、会場でいただいたカンパは含まれていません。

“靖国”を考えるシンポジウム

第6回例会を兼ねて

2005年8月24日、宮崎市民プラザ・4階ギャラリーで“靖国”を考えるシンポジウムを開催しました。

山田哲生氏（福岡県歴史教育者協議会副会長）による基調報告をはじめ、橘智子氏（英空寺僧侶）、章大寧氏（南九州大学助教授）、山下謙二郎氏（教育史研究者）によるパネルディスカッション等、内容盛りだくさんの今回のイベントには、100名の参加者で熱気に溢れ、2時間という時間がアツと言う間に感じられました。

参加者からは、「靖国のことがよく分かった」「靖国を知らないことが問題だ」「いろんな立場



山田哲夫氏による
基調報告



パネルディスカッション
藤原代表(コーディネーター)



パネルディスカッション
山田哲夫氏



パネルディスカッション
橘智子氏



パネルディスカッション
章大寧氏



パネルディスカッション
山下謙二郎氏

の意見が聞けて良かった」「侵略を受けた国の視点からの意見が聞けて良かった」「大学生・高校生にも参加してもらいたい」などの感想が寄せられました。(田中宏奉)

「九条Tシャツ」について - お礼と報告 -

母親大会実行委員会で、九条Tシャツを企画し、当の母親大会を始め、あらゆる機会を見つけ普及に努めてまいりました。

お陰さまでこれまでに千枚以上を売り、更に追加注文を受け付けているところです。

九条の会の皆様には、いち早くご利用・普及につとめていただきありがとうございます。

これまでに「九条の会」扱いとして普及した分につきましては、1枚の売上ごとに250円の還元金を会の収入金として入金させていただいております。(9/15現在報告 32枚×250円=8,000円)

平和のとりでとして世界の宝である憲法九条を守り抜くために、九条Tシャツを動く宣伝物として、また財政づくりとして、ますますご利用していただきますことをお願いします。

(平野千恵子)

今後の活動予定

9月22日 18:30～ 第7回例会

宮崎市教育情報センター

内容：「ぼくらの大東亜戦争（仮題）」
横川澄夫代表世話人による講演

10月27日 18:30～ 第8回例会

宮崎市民プラザ

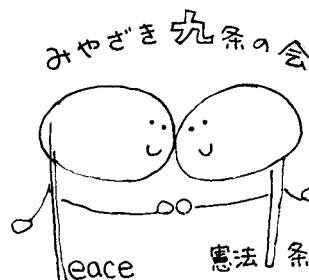
内容：「いのちの重み」
池田一氏(元宮崎大学学長)による被爆体験記

「みやざき九条の会」シンボルマーク決定！

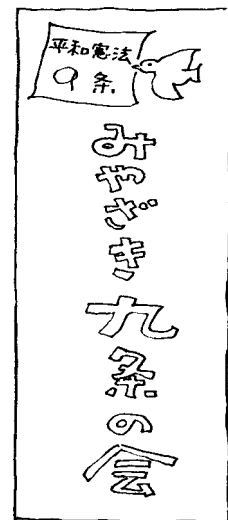
事務局では、日常的に九条を広げる活動として、バッジやTシャツなど、オリジナルグッズのデザインを会員みなさんに募っていましたが、応募がなかったことから、井上しほさんにデザインをお願いし、グッズの製作を検討することにしました。

見てお分かりとは思いますが、(A)は「PEACE(平和)」の「P」と「憲法九条」の「9」が握手して、「平和と憲法九条」が固く結ばれていることを表現しています。

(A) Tシャツ、バッジ、ステッカーなど
(B) のぼり
に使用する予定です。



(A)



(B)